

## 専門医認定委員会

委員長：中塚 貴志

担当理事：内沼 栄樹

委員：相原 正記、井砂 司、今井 啓介、岩澤 幹直、大久保文雄、  
大西 清、垣淵 正男、岸邊 美幸、木股 敬裕、木村 中、  
多久嶋亮彦、田中 克己、松村 一、三鍋 俊春、宮坂 宗男、  
宮脇 剛司、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 24 年 4 月 11 日、②平成 24 年 10 月 5 日

③平成 24 年 11 月 25, 26 日、④平成 25 年 1 月 24, 25, 26 日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査

2. 専門医認定審査

3. 審査法の検討

4. 研修手帳の作成

活動の概要：1. 平成 24 年度の専門医申請者 159 人に対し、平成 24 年 11 月 25, 26 日に都市センターホテルにて提出書類による資格審査を行った。

2. 今回、資格審査において書類不備の率は去年に比し減少したものの、日付記載ミス、術前後の画像・術後写真の不足などのミスが目立ち、書類再提出依頼は 67 人に及んだ。資格審査で不合格、書類不備がありと判断された申請者からの弁明、書類追加に対してメール委員会を開き審査した。その結果、資格審査による不合格は 4 人となり、155 人が筆記試験の受験資格を得ることとなった。

3. 資格審査合格者 155 人に対し、平成 25 年 1 月 24, 25, 26 日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。

4. 筆記試験問題の一部を問題集から改変し出題した。医療問題は前年同様 1 問出題した。また、記述式問題を 1 問出題し、採点には加えないが、口頭試問の際の参考とした。今回の専門医審査では、口頭試問において、5 問中 2 問は 10 症例と直接関連のない一般臨床問題を出題することになり、委員が作成し用意した 31 問を各班で順番に使用した。合否基準に関しては、筆記試験と口頭試問の評価方法は従来通りであったが、これに書類審査の減点制を加味した。

5. 筆記試験の結果は、最高点 98 点、最低点 50 点、平均 82 点であった。審査の最終結果は以下のごとくであった。

専門医審査申請者：159 人

資格（書類）審査不合格者：4 人

筆記・口頭試問不合格者：27 人

欠席者：2 人

専門医試験合格者：126 人

合格率：80.3% (126/157)

6. 専門医認定機構の勧告を受け、学会として「研修手帳」を作成することが提案され、理事会から要請されたので、多久嶋委員を委員長として本委員会内に「研修手帳作成部会」を設けて検討した。その結果、研修手帳の素案が作成されたが、症例記録に関しては学会のデータベ

ースを利用することが最も合理的で申請者の負担にならない方法と思われたが、その具体的な運用方法に関しては今後の検討とすることが確認された。以上の結果は、専門医統括会議においても報告され了承された。